
私立白基地学園

義若

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私立白基地学園

【Nコード】

N9052Z

【作者名】

義若

【あらすじ】

なんの変哲も無いナチュラルの主人公の編入先はMS操縦者養成施設、私立白基地学園。

プロローグ（前書き）

うけるかどうか分からないけどお楽しみください。

ブローグ

俺は、4月に高校生になり教室の雰囲気にも馴れ始める5月、まさかの転校。

場所はコロニー・サイドセブンにあるMS操縦者養成施設（私立白基地学園）。

そこはモビルスーツ（以後MS）と言う兵器を使うだけあって、それを使いこなせる特別な人物だけが入れる全く前例のない変わった学校である。

呼ばれるのがガンダムが使えるニュータイプとコーディネーターやイノベーター。

でも、何故ナチュラルの俺がガンダムを動かせる理由は分からない。まさか、自分がその仲間になるうとは…。

「まもなく、一番レーンにコロニーサイド7行き、シャトルロケットが到着致します。」
アナウンスが流れた。

そういえば見送りに来るって言ってた親がない、携帯電話を見たら一通のメールが届いていた、

『アメリカから急に仕事が入ったから見送りできない』

「またかよ」

俺はため息してシャトルロケットに乗った。

仕事熱心なのはいいが、たまには約束を守って欲しかった。

俺の母親は海外でも働く超キャリアウーマン、親父はジャンク屋で世界各国のお宝ジャンクを集め周っている、

だから二人とも家に帰らず俺一人でいるのが多かった。

そうこう説明してるうちに出発してから5時間後、コロニーに到着した。

プロローグ（後書き）

ガンダムが好き過ぎて書いてしまいました。

誤字脱字が無いか確認おねがいします。

第1話：再会（前書き）

次話を投稿しました。

どうぞお楽しみください。

第1話：再会

コロニーについてから電話が鳴った、誰からかかってきたかと思いつながら応答すると……

「もしもし」

「よう、相棒久しぶりだな！」

この声は間違いなく幼馴染みのデュオマックスウェルだ

「デュオか、久しぶりだな」

最近会ってなかったから顔は覚えてないが、声は覚えている。

「テレビ見たぜ、お前の初々しい姿、あの姿には泣けたぜ、あのお前がこんなに成長したなんて」

「お前は俺の親か！！」

「そういえば、親で思い出したんだが、さっきお前の親父さんが学園の格納庫で何かしてたぞ、まだいると思うから学園に着いたら格納庫言ってみれば？」

「情報どうもありがとう」

「言い、電話をきった」

そこで一つ疑問に思う事があった、

それは、俺の親父ことロウギュールは前にも言ったがジャンク屋だが何故白基地学園のMSの格納庫なんかにいるんだろうと思いつながら

駅をあとにし、
駅前に待っていた学園の職員の人と学園に向かった。

第1話：再会（後書き）

主人公の名前を出すのは次回出そうかなと思います。

誤字脱字の確認お願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9052z/>

私立白基地学園

2011年12月28日13時49分発行